



南東北

- ・一般財団法人脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人南東北福祉事業団
- ・医療法人社団三成会
- ・医療法人社団新生会
- ・医療法人財団健貢会
- ・社会医療法人将道会
- ・医療法人 謙昌会

第334号

院是「すべては患者さんのために」

URL: <http://www.minamitohoku.or.jp>
E-mail: pr@mt.strins.or.jp



胃がんの内視鏡治療について語る濱田医師

▼胃がんの原因
胃がんの最大の原因はヘリコバクター・ピロリ菌です。ピロリ菌は1900年代後半、オーストラリアの2人の学者、ロビン・ウォレンとバリ・ジェームス・マージナルによって発見されました。

北病院長の濱田晃市先生が「胃カメラで治る胃がんの話」と題して、胃がんの原因となるピロリ菌や最近の内視鏡治療について話しました。講演内容を要約して紹介します。

11月医学健康講座

胃カメラで治る胃がんの話

日本人に多い胃がんですが、近年は早期で治る病気と言われている。早期胃がんの多くは内視鏡（胃カメラ）で治療が行われています。11月15日（金）に総合南東北病院で開かれた医学健康講座では、同

菌はほとんどが東アジア型で、日本人の胃がんの99%はピロリ菌によるとみられます。都道府県別で10万人あたりの胃がん死亡数をみると、最も多いのが秋田県で24・1人。福島県は18・4人で8番目です。一番低いのは沖縄県の9・1

す。しかし、イタリアやスペインのように感染率が高いのに、胃がんによる死亡数が少ない国もあります。これはピロリ菌には、発がん性の高い東アジア型と発がん性の低い欧米型があるためです。

世界的に見ると、ピロリ菌の感染率が高いのは主にアジアやロシアで、胃がんによる死亡率が高い国とほぼ重なります。米国は感染率が低く、胃がんで亡くなるのは稀で

マージナルはピロリ菌を自ら飲んでピロリ菌が胃潰瘍を起こすことを証明しました。1991年ころには、ピロリ菌と胃がんの関係性が報告され、2人は2005年にノーベル生理学・医学賞を受けています。

リンパ節転移なければ可能

主流は内視鏡的粘膜下層剥離術

日本人の持つているピロリ菌はほとんどが東アジア型で、日本人の胃がんの99%はピロリ菌によるとみられます。都道府県別で10万人あたりの胃がん死亡数をみると、最も多いのが秋田県で24・1人。福島県は18・4人で8番目です。一番低いのは沖縄県の9・1

ける必要があります。胃がんがないか確認するためですが、併せてピロリ菌がいるかどうかの見通しを判断します。いそうであれば呼吸試験、血液検査、便検査、組織検査などでチェックします。

胃のなかにピロリ菌がいるかどうかを見つけるには、保険制度上、内視鏡の検査を受けなければ、急性胃炎になっても免疫により倒されます。

人。沖縄は欧米型のピロリ菌が多いためとみられます。ピロリ菌がどのようにして感染したのかはまだ不明な点も多いのですが、昔は上下水道設備が整っていない不衛生な環境であったことや、親から子への食べ物の口移しが行われてきたことなどが考えられます。ピロリ菌は大人になってからの感染であれば、急性胃炎になっても免疫により倒されます。

し、リスクがゼロになることはありません。日本人のピロリ菌感染率は70代で50〜60%、40代が20%、10代は2%です。感染、未感染で胃がん発生率を比べると、8年間の観察で感染者は2・9%、未感染者は0%という結果が出ています。ただし、東アジア型のピロリ菌に感染しても全員が胃がんになる訳ではありません。

今月号のなかみ

- ▶ 2面 = 1面のつづき、健康生活情報ナビ「ミカンで元気に」、最近よく聞く言葉「ヘルプマーク」
- ▶ 3面 = うつ病・抑うつ状態、健康ワンポイント・ヨガ、南東北こども学園で保育士募集
- ▶ 4面 = 施設だより、がん陽子線治療実績、当院の目標
- ▶ 5面 = ゴールドメディアの松本さんに100歳賀寿、南東北通所リハビリでオカリナコンサート、がん患者・家族サロンほっと
- ▶ 6面 = こちら専門外来「脊髄外科部門」、突発性難聴すぐ受診を、シャトルバス運行が冬ダイヤに
- ▶ 7面 = 患者さんからの礼状、増子輝彦さんのコラム、11月医学健康講座、11月の手術件数・救急車台数
- ▶ 8面 = 食の豆知識「れんこん」、薬局だより、編集後記

ピロリ菌以外の胃がんの因子で大きいのは塩分です。食塩摂取量が多いと胃がんになるリスクは2倍です。タラコ、イクラ、塩辛などの塩辛い食品を毎日食べている方は要注意です。胃の中で食塩濃度が高まると、胃の粘膜がダメージ

健康生活情報ナビ

ミカンで元気に

日本で冬の代表的果物といえど「炬燵(こたつ)でミカン」を思い浮かべる人も多いことでしょう。お正月飾りの鏡餅に載せる橙(だいだい)色のミカンには「代々幸せが続くように」との願いが込められていたそう。それだけミカンは日本人に馴染み深

い果物ですが、栄養的にも優秀で「毎日食べれば風邪知らず」と言われるほどです。何と言ってもビタミンCが豊富です。1日3個食べれば、1日に必要なビタミンCの摂取量を賄うことができます。ビタミンCには「免疫力を高め細菌やウイルスへの抵抗力をつける」「心筋梗塞や狭心症、脳梗塞などの動脈硬化を誘発させる悪玉コレステロールを抑制する」といった働きがあります。

風邪予防や美肌に効果

白いスジにも貴重な栄養

また、ミカンはβ-カロテンも豊富です。この栄養素は体内に取り込まれるとビタミンAに変化し発育促進、肌の健康維持風邪の予防にも効果が期待されます。他にカリウムも多く含まれており、塩分の摂り過ぎを調節してくれます。

ミカンを食べるとき、つい敬遠しがちな白いスジには、ポリフェノールの一種のヘスペリジンという栄養素も含まれています。この栄養素には毛細血管を強化し血流を良くする効果がありますが、人間の体内では作り出せないため食物から摂取する必要があります。白いスジを取り去るのは、栄養的にみるともったいないことです。健康にも美肌にもよい、甘くておいしい旬のミカンを食べましょう。

(1面からつづき)

シミ・そばかすのもととなるメラニン色素の原因チロシンを生成する酵素チロシナーゼを抑え、メラニン色素の沈着を防ぎます。ビタミンCは、肌に張りや弾力を持たせるコラーゲンの生成に必要な栄養素で、ビタミンEと協力して有害な活性酸素から身体を守ります。

胃カメラでの治療

内視鏡によるがんの治療には3つの方法があります。一つは「ポリペクトミー」で、

最近

よく聞く言葉

赤地に白の十字とハートのマークのストラップを靴などに付けている人を見かけたことはないでしょうか。この図柄は「ヘルプマーク」と呼ばれます。

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病、精神疾患の人、妊娠初期の人など、外見からは障害や疾患が分かりにくい人が、周囲の人

キノコ状のポリープの首にスネアと呼ばれる金属の輪っかを引っ掛けて萎め、電気で焼き切ります。二つ目は、首のないポリープに対して行う「EMR(内視鏡的粘膜切除)」で、胃ではほとんど行いません。ポリープの下に生理食塩水などを注入し、ポリープを持ち上げてからスネアを引っ掛け焼き切る方法です。

三つ目は「ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)」という方法で、現在はほとんどがこの方法が行われています。がんを切り取る部分にマーキングをして、先端2mmの電気メスで焼き切る方法です。ESDは①がなが2、3cm以上の大きさになっている治療可能②電気メスで切るため、決

に支援や配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。東京都が平成24年に配付を開始しました。この取り組みが全国に広がり、現在では案内用記号としてJIS規格にも登録されています。

めた範囲で確実に切除できるなどのメリットがあります。ただし、ポリペクトミーかEMRよりも出血や胃に穴があいてしまう危険性が高く、長時間の治療となり、高度な技術を要します。

ヘルプマーク

ヘルプマークにはストラップのほか、必要な支援などを記載してマークの裏面に貼り付けるシールが付いています。

平成30年11月から各市町村で順次配付を開始しました。希望者は居住する市町村の障害福祉担当課窓口申し出れば無償で配付されます。配付数は1人1個で、障害者手帳や診断書の提示は必要ありません。郡山市などのように独自にヘルプマークを作成、配付している市町村もあります。ヘルプマークを使用している人を見かけたら、電車やバスで席を譲るなど、思いやりのある優しい行動を取るようにしましょう。

脊髄外科部門

- ・南東北医療クリニック
- ・須賀川診療所

こちら専門外来 ⑪

脳神経外科専門病院としてスタートした当院では、脳血管障害や脳腫瘍に対する診断・治療のみならず、幅広い診療体制を充実させる目的で、平成15(2003)年4月1日から脳神経外科内に脊髄外科部門を常設しています。

脊髄外科部門で扱う疾患は頚椎症、頸部脊柱管狭窄症、頚椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性すべり症、腰椎椎間板ヘルニア、脊髄腫瘍、末梢神経疾患(手根管症候群・肘部管症候群)、脊椎圧迫骨折等々、多岐にわたります。保存的治療に重点を置いています。無効な場合には顕微鏡下や内視鏡下での低侵襲手術を行っており、身体への負担が少ない方法を選択するよう心がけています。また脊椎圧迫骨折に対するバルーン・カイフォプラスティー(BKP)も積極的に行っています。

当院脳神経外科は平成20(2008)年6月11日付で日本脊髄外科学会の訓練施設として認定され、脊髄外科医育成のための基幹病院となっています。

【診療のご案内】

南東北医療クリニック脳神経外科：水曜日午後・木曜日午前

附属須賀川診療所：水曜日午前

【担当医】

平野仁崇(総合南東北病院 脊髄外科科長兼 脳神経外科医長 ※日本脊髄外科学会指導医・認定医、脊椎脊髄外科専門医、日本脳神経外科学会専門医)

【お問い合わせ先】

電話 0120-14-5420 (外来予約専用番号)

難聴 突発性

発症したらすぐ受診を

ある日突然、片方の耳が詰まったようになり、音が聞こえなくなる。「キーン」という高音の耳鳴りが止まらない。こうした症状は「突発性難聴」で、すぐに医療機関(耳鼻科・耳鼻咽喉科)を受診してください。治療が遅れると、聴力が元にもどらない可能性が高くなります。

▼「難病」指定の病気
突発性難聴は、耳の中の音を電気信号に変換して脳へ伝える神経や組織に障害が起ることで発症します。原因ははっきり分かっていませんが、免疫力が低下しているときに内耳の感覚細胞にウイルスが感染し細胞に障害が起るとい説と、何らかの原因で内耳の血流が悪くなり機能低下を起すとい説が有力です。厚生労働省より「難病」に指定されている病気で、発症から2週間を過ぎると、治療効果が極端に落ちてしまいます。自覚症状があったら放

置しないことが重要です。治療は、薬物療法が中心で耳の中の炎症を抑える副腎皮質ステロイド薬や、耳の中の血流を改善する「循環改善薬」が主に使用されます。治療の効果は1週間ほどで現れ、この時点で改善していれば治る確率が高くなりますが、改善が見られなければ難聴が固定化することが多いようです。

▼メニエール病との違い
突発性難聴には、メニエール病をはじめ、症状の似た病気がいくつもあります。このため難聴の原因を診断するためのX線検査や純音聴力検査を行います。状態によって、さらに精密な検査や画像診断が必要となることもあります。

めまいを主訴とするメニエール病でも難聴や耳鳴りといった症状が起こるケースがあります。このため、めまいが繰り返し起こることは基本的にはありませんが、メニエール病はめまいが繰り返し起こります。また、突発性難聴の耳鳴りは「キーン」という高音ですが、メニエール病では「ブーン」という低音が聞こえます。

ただし、メニエール病も突発性難聴と同じく、初期の段階での治療が重要です。いずれにしても、症状が現れたときはすぐに医療機関を受診することです。

突発性難聴は、年間に3〜4万人が発症するといわれ、特に40〜60歳の働き盛りに多くみられます。ストレスや過労、睡眠不足、糖尿病などが影響していると考えられ、健康な人でも発症する恐れがあります。子どもが発症する

シャトルバスは日曜・祝祭日を除く毎日運行しています。詳しくは総合南東北病院または南東北医療クリニックの総合案内にご確認ください。

シャトルバス冬季時刻表

郡山駅 出発	病院 出発	クリニック 出発
8:00	8:25	8:30
9:05	9:25	9:30
9:50	10:35	10:40
11:00	11:25	11:30
12:00	12:25	12:30
13:00	13:25	13:30
14:00	14:25	14:30
15:00	15:25	15:30
16:15	16:40	16:45
	17:30 (公園前発)	
	★18:30 (公園前発)	

(★は変更箇所)

シャトルバスが冬ダイヤに移行

郡山駅ー病院間

総合南東北病院・南東北医療クリニックー郡山駅間を往復するシャトルバス(月々土曜日運行)は12月16日(月)から冬ダイヤとなり、病院・クリニックから帰るバスの出発時刻が一部変更しました。

午後6時5分発(前林公園前)は運休、午後6時40分発(同)は6時30分発(同)となりました。期間は3月14日(土)まで。このほかの運行時刻は変更ありません。